

# 中央大学杉並高等学校外国語科 一般入試の出題方針

～受験生の皆さんへ 外国語科からのメッセージ～

## ◆教育方針

- ◇ 言語技能4分野（Listening, Speaking, Reading, Writing）のバランスの取れた習得
- ◇ 大学受験のみにとらわれない、オールラウンドな英語力の養成
- ◇ 自学自習能力の育成

## ◆本校外国語科の特徴

- ◇ 全学年でネイティブスピーカーとのTT（ティームティーチング）を実施
- ◇ 各種外国語検定試験受験を奨励（英検、TOEIC など）
- ◇ 選択科目（3年次）にドイツ語、フランス語、中国語を設置

## ◆一般入試問題出題方針とアドバイス

### 1 リスニング問題

#### ①対話文形式の問題

#### ②まとまった長さの問題文を聴き、その内容に関する設問に答える形式の問題

⇒アドバイス：

- ・問題表紙の注意事項にあるように、リスニングテストは『試験開始後2分経過してから始まる』ので、あらかじめリスニングテストの指示文と英文に目を通して、答え方の要領をつかんでおくことが必要です。問題の予測にも役立ちます。
- ・英検3級から準2級のリスニング問題を内容がよく理解できるまで繰り返し聞くようにしましょう。テレビやラジオの英会話番組や、洋画鑑賞を通して会話表現を勉強するのもよい方法です。
- ・音読の習慣をつけることが必ず英語力アップにつながります。

### 2 長文問題

#### ①内容に関する設問だけを設定した長文問題

#### ②内容だけでなく文法、単語・熟語なども含めた総合問題としての長文問題

⇒アドバイス：

- ・色々な種類の英文をたくさん読み、すばやく内容を理解する力をつけましょう。日本語でも常に多くの分野の知識、教養を深め、新聞や本などから様々なトピックに関する情報を得ることは、想像力を持って英文を理解するのに役立ちます。
- ・単語や熟語を増やすことでより英文が読みやすくなるはずですよ。

### 3 文法問題

中学3年間で学んだ文法事項を問う問題

⇒アドバイス：

- ・重要な文法事項を含んだ例文は繰り返し書いたり声に出して読むことで、自分でも使うことが

できるようになります。

・文の形、文構造を理解しましょう。例えば並べ替えの問題などは次のように考えてみましょう。

\* 日本の医者達がインドに送った薬は、貧しい人々を助けるために使われた。 [一般入試過去問題より]

( ) ( A ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( B ) ( ) help poor people. (1語不要)

A sent イ which ウ used エ the Japanese doctors オ was カ to キ to ク who ケ the medicine コ India

→「薬は～ために使われた」は The medicine was used to～である。「薬」を修飾する部分「日本の医者達がインドに送った」は関係代名詞 which でつなげる。the medicine に which で the Japanese doctors sent to India の説明文をつなげて全体を主語とし、後ろに help poor people があるので、「貧しい人々を助けるために使われた」の意味にするため動詞 was used とそれ以下の to help poor people をおいて完成！ who が不要。

The medicine which the Japanese doctors sent to India was used to help poor people. 下線が A, B に入る。

四角で困った固まり部分を頭に描き、文の構造にそってパズルのようにつなげていく練習をしよう。

#### 4 英作文

中学3年間で学んだ文法と単語熟語を使った問題

⇒アドバイス：

- ・日本語の意味を的確にとらえた上で自由に英文を書いて欲しいと考えて、完全記述の形で毎年英作文の問題は出しています。単語、熟語を何度も書いて正確なスペリングを覚え、できる限り多くの英文を声に出して読む習慣をつければ自分でも使うことができるようになります。
- ・正解はひとつとは限らないので、直訳しようとせず全体の意味を考えながら文意にふさわしい英文を組み立てられるようにしましょう。例えば下の英作文は次のように考えてみましょう。

\* 「塩を取っていただけますか。」「はい、どうぞ。」 [一般入試過去問題より]

→ 中学校の英会話の時間にきっと何度も使ってきたフレーズ。「～していただけますか。」は Would you～? でも Could you～? でもよい。Pass me the ～もよく使われる表現である。salt を solt と書いてしまわないよう日本語の「を取る」に気を取られて take にしたり、「どうぞ」の日本語を見ただけで意味を取らずに please を使ったりしないよう気をつけよう。物を渡す時は Here you are / go. や Here it is. を使う。「はい」は了解の意味なので Sure / All right / OK など。「」は会話文を表す“ ”でくくることも習ったはずである。

“Could you pass me the salt?” “Sure, here you are.” のように書いてみてはどうだろう。

\* 宿題が終わったら車を洗うのを手伝ってくれない? [平成23年度一般入試問題より]

→ 「～してくれない?」と親しい感じなので、Will you～? か Can you～? を使う。丁寧に言う時は Would you～? Could you～? を使ってもいい。「(人)が～するのを手伝う」という言い方は help+人+(to)動詞の原形が使える。「宿題が終わったら」は時・条件を表す副詞節のなかでは未来でも現在形で表すことに注意して After / When you finish your homework となり、After / When you will finish your homework ではない。

Will you help me (to) wash the car after you finish your homework? は正解例のひとつ。